

病院長名	水野 裕元
所在地	〒459-8540 愛知県名古屋市緑区南大高二丁目 204 番地
交通案内	JR 東海道本線 南大高駅 下車 徒歩 3 分 (普通のみ停車)

## □ 病院の特徴

当院は、名古屋市緑区の中核病院であり、313 床あり、二次救急指定病院です。(緩和ケア病棟 20 床・地域包括ケア病棟 48 床を含む) 当院のエントランスは街の皆さまの生活通路になり、病院にかかる予定がなくてもふと立ち寄ることができる、地域の方々が世代を超えて集う場所になっています。

地域の住民の声と力を集めた、地域の方々と一緒に作り上げた病院として、南医療生協の基本理念『みんなちがってみんないい、ひとりひとりのいのち輝くまちづくり』、南生協病院のビジョンは、『市民の協同でつくる健康なまちづくり支援病院』を掲げております。

## □ 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

総合病院南生協病院総合診療専門研修プログラム

### 【研修目標】

総合診療専攻医に求められる姿勢とは単に症例を経験することにとどまらず、これらを自ら深めてゆく姿勢です。この能力は自己研鑽を生涯にわたってゆく際に不可欠となります。①幅広い全科に渡る知識②Health Maintenance (健診、健康維持) ③コミュニティーの医療資源の利用④コミュニケーション技術⑤人生経験⑥アイデア⑦優しさ⑧辛抱強さ⑨バランスの良さ

総合病院南生協病院内科専門研修施設群は基幹施設、連携施設、特別連携施設のいずれにおいても、①患者から学ぶという姿勢を基本とする。②科学的な根拠に基づいた診断、治療を行う。(EBM; evidence based medicine) ③最新の知識、技能を常にアップデートする(生涯学習)。④診断や治療の evidence の構築・病態の理解につながる研究を行う。⑤症例報告を通じて深い洞察力を磨く。といった基本的なリサーチマインドおよび学問的姿勢を涵養します。併せて、①初期研修医あるいは医学部学生の指導を行う。②後輩専攻医の指導を行う。③メディカルスタッフを尊重し、指導を行う。④地域の社会資源を活用し、地域医療を学ぶ、総合診療専攻医としての教育活動を行います。

### 【研修期間】3 年

### 【研修スケジュール】

毎朝 8:20 朝会 ER カンファ (8:00 外来カンファ (木曜日))

午前 病棟管理・外来 (週 2 単位)・救急当番等

午後 病棟管理・救急当番等

夕方 ふりかえり



▲朝会 ER カンファレンス



▲地域コミュニティ 保健予防活動



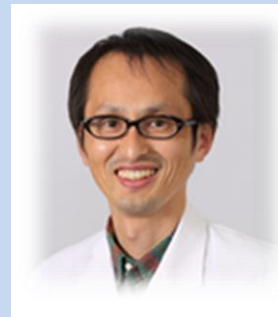
## □ 主な連携施設

高山市国民健康保険高根診療所、豊田地域医療センター、南生協 かなめ病院、南生協 よってって在宅診療所、南生協メタクリックみなみ


## □ メッセージ

統括プログラム責任者 長田 芳幸 (副院長)

総合病院南生協病院は 2010 年に現在の南大高駅前に移転しました。移転では「地域の協同でつくる健康なまちづくり支援病院」を掲げ地域住民の意見を集めました。その結果、「あいちまちなみ賞」「福祉建築賞」他を「地域住民の声を集めた病院」として評価されました。移転後は名古屋市緑区を中心とした名古屋南部地域の二次救急医療を担い、救急搬送、外来患者数が増加しています。また同じ法人内に回復期リハビリ病院、在宅診療所、4 つの内科系診療所および訪問看護ステーション、老人保健施設、高齢者住宅など医療・介護の多機能の複数の施設を有しており、病連携、病診連携および施設との連携や地域住民との交流にも力を入れています。地域の高齢化を受けて、「病院で治す」から「地域で治し支える」医療・介護の地域住民を巻き込んだ実践は、2014 年度には厚生労働省の「地域包括ケア実践 100 のモデル」にも選ばれました。このような背景があり、当院では入院中のみだけでなく、地域のくらしまで幅広い視野を養う研修が可能であり、地域住民の健康づくりと生活支援のネットワークの活動に参加し、地域住民の声を直に聞き、実践していくことが目標です。



## □ 募集要項

・採用予定人数	2 人
・給与/月額	卒後 3 年次 43 万円以上・卒後 4 年次 48 万 3 千円以上・卒後 5 年次 50 万円以上 (+10~25 万円時間外手当・日当直手当実績に応じて)
・当直回数/月	7~8 回
・当直料/回	17,000 円曜日により変動有り
・その他	ホームページご参照ください ⇒ 
・応募連絡先	担当者 医局事務局 臨床研修センター 浅田 憲子 電話番号 052-625-0373 Eメール Ikyoku-jimukyoku2@minami.or.jp